

# 第4章

秋田市がめざす望ましい環境像

## 1 望ましい環境像

本計画は、環境基本条例第3条に掲げられた基本理念と環境都市あきた宣言の理念の具体化を図る計画です。

本計画で掲げる望ましい環境像は、環境基本条例の規定の趣旨を踏まえ“人にも地球にもやさしいあきた”とします。

望ましい環境像

**人にも地球にもやさしいあきた**

## 2 基本目標

望ましい環境像を具体化していくため、環境分野ごとに5つの基本目標を設定します。

<p>分野1 脱炭素社会の構築</p> <p>基本目標1</p> <p>恵まれたあきたの資源・エネルギーをいかした便利で活力ある暮らしの実現</p>	<p>分野2 循環型社会の構築</p> <p>基本目標2</p> <p>3Rの推進と資源の好循環に基づく持続可能な地域社会の構築による快適な暮らしの実現</p>
<p>分野3 安全な生活環境の確保</p> <p>基本目標3</p> <p>穏やかで心地よい環境によって支えられる安全な暮らしの実現</p>	<p>分野4 自然共生社会の構築</p> <p>基本目標4</p> <p>あきたらしい自然に包まれ、人と自然が調和した心豊かな暮らしの実現</p>
<p>分野5 協働による環境保全の取組</p> <p>基本目標5</p> <p>あらゆる主体が協働で環境保全活動に取り組むことで、地域環境が整備された、人にも地球にもやさしい暮らしの実現</p>	

## 分野1 脱炭素社会の構築

### 基本目標1

#### 恵まれたあきたの資源・エネルギーをいかした便利で活力ある暮らしの実現

地域の資源およびエネルギーの循環的かつ効率的な利活用により、地域経済が活性化される脱炭素社会\*の実現を目指します。

## 分野2 循環型社会の構築

### 基本目標2

#### 3Rの推進と資源の好循環に基づく持続可能な地域社会の構築による 快適な暮らしの実現

市、事業者および市民が適切な役割分担の下、環境への負荷\*の低減に協働\*で取り組むとともに、「もったいない」と思う心を育み、ごみの減量や資源の有効活用等について、自ら考え、行動する意識を醸成することで、将来にわたって快適に生活できる社会の実現を目指します。

## 分野3 安全な生活環境の確保

### 基本目標3

#### 穏やかで心地よい環境によって支えられる安全な暮らしの実現

日常生活や事業活動に伴って発生する環境への負荷を低減し、市民が健康で安全に暮らせる生活環境が確保される社会の実現を目指します。

## 分野4 自然共生社会の構築

### 基本目標4

#### あきたらしい自然に包まれ、人と自然が調和した心豊かな暮らしの実現

美しく多様性に富んだ秋田市の自然は、次世代に継承すべき市民共有の財産といえます。自然の恵みを活用し、地域の活性化につなげていくとともに、自然からの恵みを持続的に享受できるよう、多様な自然環境を保全し、人と自然がふれあう、自然共生社会\*の実現を目指します。

## 分野5 協働による環境保全の取組

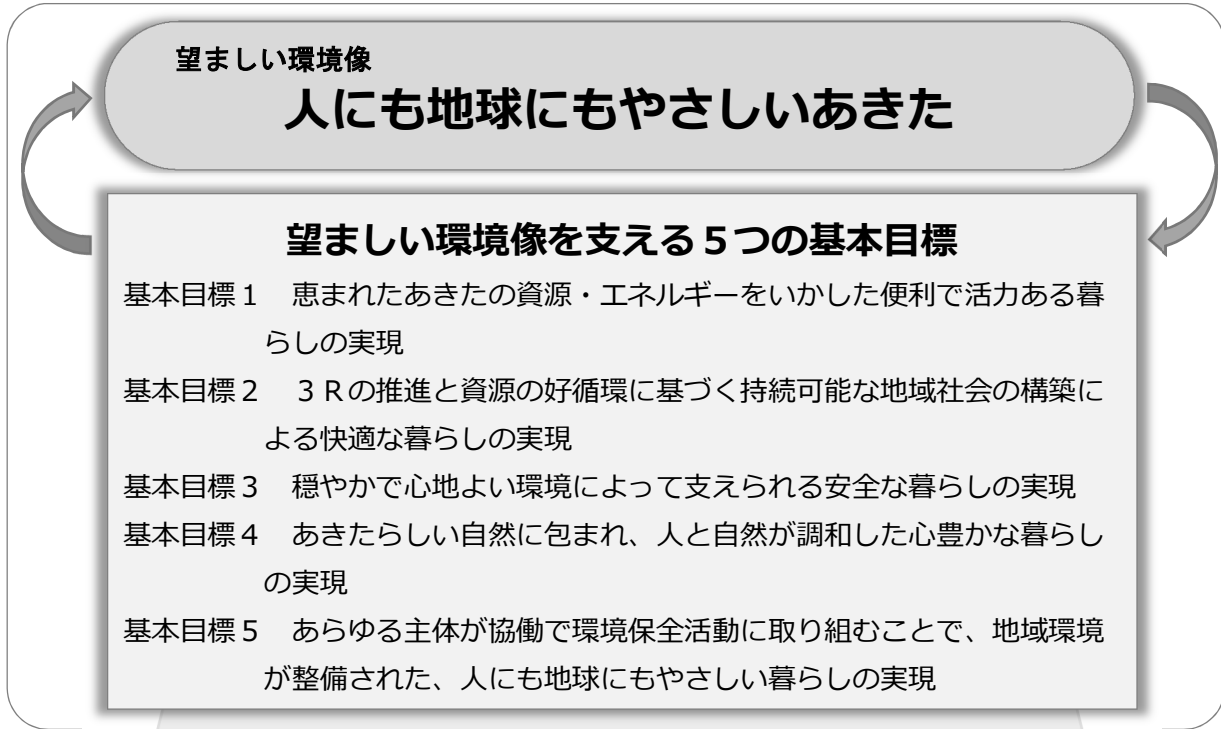
### 基本目標5

#### あらゆる主体が協働で環境保全活動に取り組むことで、地域環境が整備された、 人にも地球にもやさしい暮らしの実現

市民や事業者による自発的、積極的な行動・参加を支えていくため、環境情報の提供や環境教育・環境学習を推進していくとともに、環境の保全と創造に向けて、市、事業者および市民のそれぞれが自らのライフスタイル\*を変革し、協働による環境保全活動の実践を進めていく社会の実現を目指します。

### 3 望ましい環境像の実現に向けて（計画の構成）

望ましい環境像の実現に向けて、各分野にわたり取り組んでいく「環境の保全および創造に向けた施策」を設定します（第5章）。また、施策の横断的な推進を図る「分野横断的取組」を設定します。



**環境の保全および創造に向けた施策**

基本目標 1	地球温暖化対策の推進
	持続可能なエネルギー利用への転換
基本目標 2	廃棄物の発生抑制・再使用と資源の好循環
	廃棄物の適正処理の推進
基本目標 3	大気環境の保全
	水環境の保全
	その他の生活環境の保全
基本目標 4	生物多様性の普及・啓発
	多様な自然環境の保全と持続可能な利用
	自然とのふれあいの促進
基本目標 5	環境教育・環境学習の推進
	自主的な環境保全活動の促進と協働による取組の推進
	地域に根ざした環境共生スタイルの推進

環境施策の横断的な推進

- 分野横断的取組**
- I 家族と地域のつながりを深める、協働による環境保全活動の活性化
  - II 環境対策と経済活動の好循環による環境関連産業の振興
  - III 美しく多様性に富んだ自然を活かした魅力の継承と発信
  - IV 脱炭素型のコンパクトなまちづくり